

令和6年度 第2回岸和田市教育委員会評価委員会 会議録

○日 時：令和6年7月31日（水）午後2時～午後2時50分

○場 所：市役所新館4階 第1委員会室

○出席者

委員長 坂本 暢章 委員 上田 直美 委員 斉喜 昭彦 委員 土井 奈保

○事務局

教育長 大下 達哉

教育次長兼教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 長岡 英晃／生涯学習部長 池内 正彰

総務課長 柿花 真紀子／学校適正配置推進課長 西河 鉄二／学校給食課長 寺埜 朗

学校管理課長 松下 英俊／産業高校学務課長 橋本 純／学校教育課長 松本 秀規

人権教育課長 松本 真里／生涯学習課長 井出 英明／スポーツ振興課長 河内 みどり

郷土文化課長 井上 慎二／図書館長 宇野 義文／総務課主幹 二宮 明生

○傍聴者：2名

〈開会にあたり教育長よりあいさつ〉

◇評価委員会開会

○坂本委員長

事務局より本日の進行について説明をお願いします。

○二宮総務課主幹

本日は、委員からのご意見をもとに各シートの修正点及び教育委員会の考え方について、各部署単位でご説明申し上げます。

説明の際、委員の皆様には、資料No.1及び資料No.3をご覧ください。「資料No.1 評価委員会委員からいただいた主な意見」には、委員の意見の下に、網掛けで、点検・評価シート（案）の修正の趣旨と、教育委員会の考え方を記載しております。点検・評価シート（案）の修正内容の確認は、「資料No.3 点検・評価シート（案）」をご覧くださいこととなります。

○坂本委員長

それでは、点検評価シートの確認をいたします。教育総務部から説明をお願いします。

○藤浪教育次長兼教育総務部長

私から教育総務部に関する項目について、委員の皆様からいただきましたご意見と教育委員会の考え方につきまして、ご説明申し上げます。

項目番号6「学校給食運営の充実」について、1点ご意見をいただきました。

「市費負担経費節減について、約16%の節減ができておりますので「目標を上回る」成果とも考えられますので、評価に関しまして再度ご検討下さい。」というご意見です。

教育委員会の考え方としまして、給食調理業務を民間委託することでの経費削減は一定程度あるものと考えています。しかし、その効果は人件費やその他物価の高騰で年々減少しているのも事実です。

過去の数値を見ますと、令和になって以降も20%程度の節減効果を出していましたが、直近では16%になっており、最近の物価上昇や人件費高騰などを鑑みますと、概ね目標通りであると判断しま

した。点検・評価シート（案）の修正はありません。

○坂本委員長

只今の教育総務部の説明について、ご質問等ございませんか。

一定の効果はあるものの以前に比べて縮小しているということですね。先日の学校訪問時では、給食も頂き、児童生徒が考案したメニューも取り入れて頂くなど、工夫がされている点を伺えました。

他に意見がないようでしたら、教育総務部については以上とします。

次に、学校教育部にまいります。学校教育部から説明をお願いします。

○長岡学校教育部長

私から学校教育部に関する項目について、委員の皆様からいただきましたご意見と教育委員会の考え方につきまして、ご説明申し上げます。

項目番号1「授業の改善・読書活動の充実」について、2点ご意見をいただきました。

1点目は、「放課後学習支援事業・学びの土台づくり推進事業は、個別のテスト等では着実な成果を出しているが、他の指標（非認知能力[勉強は楽しい・勉強はよくわかる]等）への波及はみられるのか、現状と同事業の成果を広げていくための今後の方向性をお聞きしたい。」2点目は「「学びの土台づくりの取組」の事例を教えてください。」というご意見です。

教育委員会の考え方としまして、1点目のご意見ですが、例えば、「国語の勉強は好きですか」等の非認知能力への波及については、各学校の校内研究や授業改善、少人数指導の状況など、様々な要因が影響していると考えられるため、2事業だけの成果とは言えないと考えております。

令和6年度より、放課後学習支援事業について、対象学年を3年生から6年生に拡充、学びの土台づくり推進事業については対象学年を効果の高い全市幼稚園5歳児と小学校1～4年生に重点化し、全小学校、幼稚園に拡充しております。全市で実施する中で学力指標の推移を確認しながら、事業の方向性を検討したいと考えております。2点目のご意見ですが、各校の実情に応じて、立腰や朝読書等、様々な取組を行っております。1点目、2点目ともに点検・評価シート（案）の修正はありません。

項目番号5「生徒指導体制・教育相談体制の充実」について、1点ご意見をいただきました。

「気になったのが、暴力行為が増加傾向にあることでした。保護者との連携など様々な対応をされていることは良くわかります。今の子どもたちはコミュニケーション術を学ぶ機会も必要ではないでしょうか。アンガーマネジメントや伝える力（アサーション）などをコグトレのように継続的に学ぶことも必要かもしれないと感じました。」というご意見です。

教育委員会の考え方としまして、暴力行為等の問題行動に対する指導だけではなく、予防的な指導や、児童生徒の発達を支える指導も重要であると考えています。コミュニケーションを高める取組の推進など、全ての児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるように注力します。点検・評価シート（案）の修正・変更はありません。

項目番号7番「体力向上の取組の推進」について、3点ご意見をいただきました。

1点目は、「岸和田市水泳指導業務委託（29 学校園で実施）とありますが、どこに委託したのか、明記してほしい。」2点目は「幼・小・中の水泳指導の業務委託を令和5年度は5中学校区、1小学校区の29園で実施をしたが、令和6年度はさらに4学校園を加えた33学校園に拡充して実施する。とありますが、出来ればどの校区なのかわかるようにしてほしい。」3点目は、「予算ベースで考えると、学校水泳業務委託の拡充がなされていますが、この事業と児童生徒の体力の向上との関連はあ

りますか。水泳の業務委託は教職員の業務改善の視点もあると思いますので、その点の整理をお願いします。」というご意見です。

1点目、2点目については、いただいたご意見のとおり、「点検・評価シート（案）」を修正しました。シートの15ページ、16ページをご覧ください。15ページ『5. 令和5年度の取り組み内容』の欄の一番下に委託業者名と実施校区、16ページ、『7. 今後の課題・方向性』の欄の下から3行目に追加実施校を記載しました。

次に3点目のご意見ですが、学校水泳業務委託事業は、児童生徒の体力の向上との関連があると考えており、先ずは子どもたちの教育効果を事業目的の中心としております。3点目に関しては、点検・評価シート（案）の修正・変更はありません。

項目番号2番、「「あゆみファイル」の活用」について、1点ご意見をいただきました。

「介助員、特別支援教育支援員の配置について、直近数年間の経年配置数を記載してほしい。」というご意見です。

教育委員会の考え方について、介助員につきましては、令和3年度と4年度は4人、令和5年度は9人配置しております。また、特別支援教育支援員につきましては、令和3年度44人、令和4年度と5年度は55人の配置をしております。点検・評価シート（案）につきましては、直近3年間の介助員と特別支援教育支援員の配置数を変更しております。

項目番号4番、「研修・啓発の充実」について、3点ご意見をいただきました。

1点目は、「母語指導・通訳者や日本語指導補助員の派遣に関する現状と課題及び今後の方向性について」、2点目は、「同施策に関して、新たに成果指標を定めるかどうか現時点でのお考えについて」、3点目は、「予算増になっている母語指導・通訳者や日本語指導補助員の派遣に対する成果指標はどのように示されますか。」というご意見です。

教育委員会の考え方としましては、1点目の「母語指導・通訳者や日本語指導補助員の派遣」に関する現状と課題ですが、市内の日本語指導が必要な児童生徒数は、令和4年度59名でしたが、令和5年度は69名で増加し、通訳対応言語が12か国語の言語が必要です。しかし、急な転入があり、言語面での支援や生活面での支援等、対応に急を要することや少数言語で通訳の確保が難しいことが課題と考えております。「今後の方向性」ですが、子どもの状況に応じた日本語指導の時間を確保するために、通訳や国際親善協会からの補助員の方の派遣回数に努めていきたいと考えています。

次に2点目ですが、同施策に関して、新たに成果指標を定めるかどうか現時点での考えですが、日本語指導が必要な児童生徒が増えていることから「母語指導・通訳者や日本語指導補助員の派遣」等の取組について効果の把握を行い、新たな成果指標を定めていきたいと考えています。

3点目の「母語指導・通訳者や日本語指導補助員の派遣」に対する成果指標はどのように示すかについては、母語指導・通訳者や日本語指導補助員の配置校から教育的効果や満足度に関する意見を聴取し、成果指標として示していきたいと考えています。1点目、2点目、3点目の点検・評価シート（案）の修正・変更はありません。

○坂本委員長

只今の学校教育部の説明について、ご質問等ございませんか。

項目1につきまして、昨日全国学力テストの結果が公表されました。細かい検討はこれからになると思いますが、大阪府教育委員会の発表では、どの教科も全国水準と言っています。一昔前に比べますと大きく前進していると思います。

その中で、府との比較で、ほぼ改善傾向と言われているので、市でも着実に改善していると考えます。今後も粘り強い取組をお願いします。

○大下教育長

項目番号5の6.評価のいじめの解消率の見方につきまして、学校教育課より補足させていただきます。

○松本学校教育課長

下の四角囲みに表記しておりますが、いじめにつきましては、その年に起こったいじめを最低3ヶ月の間、見守ることになっています。昨年度3月末までに起こったいじめについて、解消できた直近の数字を令和5年度の解消率の数値として掲載しております。

○坂本委員長

国が少し基準を変えましたので、2月や3月に起きたいじめが解消できないようにみえますので、この方が、実態に即した数値になっていると思います。

項目7番号につきまして、委託に関しましても先進的取組だと思しますので、効果検証して頂き、事業の推進をお願いします。

項目4番号につきまして、どの市町村も課題になっていると思います。丁寧な対応をありがとうございます。

他に意見がないようでしたら、学校教育部については以上とします。

次に、生涯学習部にまいります。生涯学習部から説明をお願いします。

○池内生涯学習部長

私から生涯学習部に関する項目について、委員の皆様からいただきましたご意見と教育委員会の考え方につきまして、ご説明申し上げます。

項目番号15「部活動地域移行の推進」について、1点ご意見をいただきました。

「施設を活かした部活動は、良いと思いますが、どれも岸和田の浜手側に多く、山手側の学生が参加しにくいのではと感じました。山手側に施設は少ないと思いますが、工夫していただけると嬉しく思います。」というご意見です。

教育委員会の考え方としまして、本市ではこれまで、久米田高校のダンス部が全国優勝を果たすとともに、地元出身のオリンピックがスポーツライミングで、素晴らしい実績を残されています。

また、2027年にはワールドマスターズゲームズ2027 関西 BMX レーシングの競技大会が本市で開催予定であることから、これらの競技スポーツを念頭に、スポーツライミング施設やサイクルピア岸和田 BMX コースを活用した部活動の実施に向け、取り組んだものです。

ご指摘頂いたように、施設が浜側に偏っており、山手の方が参加しづらかったとも考えられますが、現状では、山手に同様の施設がないため、今後、移動手段等についての検証も必要と考えています。点検・評価シート（案）の修正・変更はございません。

項目番号17「市内文化財を活用した普及行事の開催」について1点ご意見をいただきました。

「7. 今後の方向性の内容も妥当と考えますが、岸和田城の整備費用以外について、「～工夫だけでなく」「よりよい」「強化し」と言う部分も「拡充」とするならば、適切な予算等は確保できているのか」というご意見です。

教育委員会の考え方としまして、拡充策については、子ども向けの展示解説会の実施や、展示を見学するだけでなく、甲冑など実際に着用して体感してもらうこと、学校園に対しても座学だけでなく、甲冑、火縄銃、駕籠などを用いた体験型出前授業の実施、またコロナ禍で中断していた城での職業体

験を実施するなど、予算を伴わない方法も検討しているところです。点検・評価シート（案）の修正・変更はありません。

項目番号18「屋内外における多彩な行事の開催」について、1点ご意見をいただきました。

「7. 今後の方向性が「拡充」とあるが、多くの事業で「引き続き」とあり、唯一「未就学児ターゲット」事業で「より効果的」とあるが、どの部分が「拡充」なのか」というご意見です。

教育委員会の考え方につきましては、令和5年度には、生涯学習課、図書館と未就学児向けの合同企画を1回実施しました。令和6年度は5回を予定しており回数が増えるだけでなく、合同での企画となることで生涯学習部が行う家庭教育支援として各館の取組や子育て知識、支援情報をより効果的に知ってもらうことができると考え拡充としました。点検・評価シート（案）の修正・変更はありません。

項目番号13「読書に親しむ環境づくり」について、1点ご意見をいただきました。

「引き続き保育所の件ですが、お話を保育所で開催されても良いのでは思いました。絵本の読み聞かせは保育士さんも上手にされていることは理解しておりますが、保育児は、日常的には、地域の方々とのふれあう機会が少ないと思いますので、お話を通して、地域の方々とのふれあいがうまれますし、保育児も新鮮な気持ちで本に出会うと思います。本へ関心も生まれるのではないかと思います。それにスタッフの方々やボランティアの読み聞かせは、とても楽しく引き込まれるので、一人でも多くの幼児に体験してほしいと単純に思いました」というご意見です。

教育委員会の考え方につきまして、「お話し会」を市内の保育所に出向いて行うことについては、図書館で活動されている団体へ働きかけを行います。ご意見に基づくシートの変更はありません。

○坂本委員長

只今の生涯学習部の説明について、ご質問等ございませんか。

項目番号15につきまして、山手と浜手の違いや移動手段を検証頂けるということをお願いします。

項目番号17につきまして、予算を伴わない方法で検討して頂けるということですが、現場の負担も考えられますので、適切に予算を確保しながら進めて頂ければと思います。

他に意見がないようでしたら、生涯学習部については以上とします。

これでコロナ関連を除いての各項目につき、確認が終了しました。

各シートの確認作業ということで、第1回会議では全シートのご説明と意見交換を行い、第2回会議では前回の意見を中心としたご説明をいただきました。

折角の機会ですので、何かございましたらご発言いただければと思います。いかがでしょうか。

特にご意見がなければ、各項目の次に続きますが、37頁以降のコロナに関する部分について、ご意見ご質問等がありますでしょうか。

○上田委員

シート上の対応とは関係ございませんが、最近もコロナの感染が増えていると耳にします。夏休み期間に入っていますが、岸和田の小学校や中学校では夏休み前には感染が広がっていたのでしょうか。

○柿花総務課長

教員のコロナ感染による休暇の連絡や、修学旅行から戻った後、感染が流行し休校した中学校がありました。

○坂本委員長

その他にご意見ございませんでしょうか。それでは、点検シートにつきまして、確認いただきまし

た皆様のご意見を元に、最終報告書(案)を事務局に作り上げていただきたいと思います。

最後に、私の方から、今年度の点検評価について振り返りということで、まとめてきましたので、意見を少し述べさせていただきます。

評価項目については、昨年度からの継続項目に加え、新たな主要な施策・事業を追加するなど、適切に項目抽出されていきました。成果指標については一部改善が見られるが、より市民にわかりやすい指標を選定する余地は残されていると感じますので、工夫の検討をお願いします。

昨年度「目標を下回る」となっていた3項目(小中学校の適正規模適正配置の推進、生徒指導体制教育相談体制の充実、学び舎プログラム)のうちの1項目(学び舎プログラム)では「目標通り」と評価を上げていました。

学びの土台づくり推進事業としてのコグトレ実施前後で対満点率の明らかな数値向上がみられ、チャレンジテスト対府比との差が全体的に縮まっています。これらは、点検評価を活用し、振り返りを行い、取組を重ね継続してきた成果と考えます。

一方、新たな項目となった、部活動地域移行の推進では、限られた期間では成果が出なかった点等、課題も見えました。

全体をみて、主要な施策や事務事業の多くが「目標通り」以上の評価となっています。今後もより効果的に教育行政が推進されることを期待いたします。

以上のことを踏まえ、当委員会としては、点検及び評価の結果について「おおむね適正である」とする方向で総括したいと思います。委員の皆様、よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、今のポイントをふまえて「評価委員会委員による総評」を作成したいと思います。なお、文章については、私の方で確認させていただくので、委員長一任という形でご了承願いたいですが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

それでは、評価シートに関する評価委員による確認はこれにて終了といたします。今後、本日の内容をふまえ、「評価委員会委員による総評」を付け加え、教育委員会会議にお諮りする形となります。今後の作業における表現等の軽微な修正については、委員長に一任いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。それでは、これもちまして、令和6年度第2回岸和田市教育委員会評価委員会を終了いたします。委員の皆様におかれましては、議事の円滑な進行にご協力をいただきありがとうございました。最後に、事務局から何かございますか。

○二宮総務課主幹

委員の皆様、本日は、長時間にわたりご審議いただき誠にありがとうございました。

今後の予定でございますが、各シート、委員の皆様のご意見及び教育委員会の考え方、評価委員様の総評を整理し、報告書の案を作成いたします。その後、8月の定例教育委員会会議において審議いただき、承認後、9月の第3回定例市議会にて報告する予定でございます。また、市議会報告後、市のホームページに掲載するとともに、各市民センター等で公表します。事務局からの連絡は以上です。

閉会にあたりまして、大下教育長よりご挨拶申し上げます。

《 教育長より挨拶 》

《午後2時50分 終了》